

ない、勿論幼稚園の保育法は小學校の教授訓練の如く、八釜敷申すべき程でもあるまいけれども、圖畫なども今少し深く研究したならば、種々の妙

一月に咲く花二つ三つ

東京女子高等師範學校助教授

保井コノ

ふくじゆさう又、元日草は漢名を側金盞花と申します、植物學上からは、毛茛科に屬する多年生草木であります、休眠して居た地下莖から地上莖を抽出する時地上莖は大きな鱗片葉を以て居りまして是が若い葉や苔を包んで居る爲に筍の様な様子を致します、此鱗片葉は全く若い葉や苔を保護する爲のもので、櫻や桃の芽が冬籠りをする間に是を保護するのもやはり鱗片葉であります、さて此特別の葉の中から最初に抽出るのは花であります、花は五個の萼がありますそして其中に十枚以

案も案出せらるゝことであらふと余は大に希望を有してゐる次第である。

上の瓣からなる花冠があります、花冠の色は普通は黄色で、ふくじゆさうといへば普通黄色の花との考が一番に出て來さうであります、白色、紅色、淡黄と様々の色のがあり瓣の形も細いので廣いので様々あります、雄藥は多數、雌藥も多數あります。

最初に頂きの花が咲いて次々に其下の枝の花が咲きまた葉を出します、葉は複羽状をして居りまして可憐であります、普通は花を賞しますが、葉の出た後も注意しますと其後の枝にも花をつけま

すが一月から引ついで花期を相應に長く保たせられます。

東京に供給するふくじゆさうは、諸所から野生のものをつとて来るものもありますが重には信州のと東京近在の青梅、秩父、北海道とで栽培せらるゝものともあります一芽一錢五厘二錢位から一圓二圓といふ高價のものもあります培栽上の變り者も相當に澤山ありまして菊や朝顔の様に古雅な名もつけられてあります、尙北海道産にはいちげふくじゆさう(一華福壽草)といつて一莖一花の種類もあります。

此頃縁日などで澤山に賣つて居りますゆきわりさう、是は高山で所謂萬年の雪のときかけた間に可憐の花が見えるといふ意味から雪割草の名を得たものであります、みすみさうの本名がありま

す、是はやはり毛茛科の植物で、ふくじゆさうと

きは近縁故のものであります、此頃お求めになり

ますと舊葉が附いて居りますが花姑では舊葉を落して賣り出します、是は冬籠りの用意をして居るのを山から取り出して来るので本来は雪解けの時に咲くのを里に下して早く暖かな氣候の下で咲かせるので自然の状態では今頃咲くのではありませぬそれはふくじゆさうでもさうなので北海道に自生のものなどは今頃は開花などいふ騒ぎではないのであります。

みすみさうもやはり根もとには何枚かの鱗片葉があり、是は其表面に澤山の毛を持つて居ります、此鱗片葉の間から五六本の花梗を出して其の頂ぎに各一花をつけます、花梗にも毛を持つて居ます、莖にも毛が澤山にありまして鱗片は三枚あります、花冠は六七枚の花弁からなつて居りまして色は淡紅、紅、白色、また青色の勝つたのもあります、雄蕊は多數ありまして外國の栽培種では是が花瓣様になつて所謂千重のものがありますが我

國では野生のものばかりで、まだ栽培上の變種を出す程に盛んに栽培せられませぬ。葉は山茶の葉の様に厚くて三尖形をして居ります其角の尖りの鋭なのをみすみさうといつて、鈍なのをすはまさうと申しますが是は左様の區別は出来ないさうであります。申後れましたが雌藥はふくじゆさうと同じく多數あります。

みすみさうに近いもので東京近傍などに多いおきなぐさといふのがあります毛茸の澤山なものであります葉の形もよく花は暗紫色の目立たないけれども雅味のあるもので鉢にとるとなかく面白くも思ひます、西洋の野生のアネモネによく似たもので此みすみ草、其他に早春にさく一輪草、二輪草など、共にアネモネ屬に入るべきものであります。

舶來のアネモネには園藝變種が澤山にあつて白紫赤など、「フリューム」に仕立て、美しい花を早

春に裝飾とするのも面白いと思ひます、割合に容易に栽培せられて南受けの所で霜除けをしてやれば一月中旬頃には既に花を見せます。

お正月の花には水仙を落してはなりません。水仙は前に申した花と違つて葉は併行の脈をもつて居ります地下には大きい球があります此球は地下葉に多量の養分を含む爲に出来るのであります水仙の袴といふのは鱗片葉と等しいもので低出葉と申す此間から普通の綠色の葉を出し其間から花梗を抜き出します、此花梗は總花梗と申して其上方に五六の花をつけます、此各の花の梗を小花梗といひ是等の花を包む葉を苞と申まして通常葉と異ります、此花は三の數からなつて居て最外の三枚の萼と其中の三枚の花弁とは同じ様な形と色とを爲て居ますからは等を總べて花蓋と申す、花蓋について居る黄色の盃状のものは副冠と申まして或學者は花蓋の附屬物とせられますが、又雄

薬の柄部の變化したものと申します、或種類では是が非常に發達して大きくなりす、喇叭水仙などは此例でありますこの中に六本の雄薬があります雌薬は一個でありますが子房がやはり三室になつて居ります、そして此子房は花蓋の筒部と結合して下生子房をして居ります、此點が百合の類と違ふ所で此植物は、石蒜科に屬するのであります。東京へは房州から水仙が参ります九州の島原地方では水仙が澤山で耕作の害になる程だと申しますが如何ですか、併し國産のものは皆球が小さくて

二 羽 の 雛

子供の性として善いこと悪いこと總べて大人のすることを真似るのは皆様の御存知の通りであります。周囲の大人が動物を飼つて之を可愛がりま

一球から多數の花梗を出す申す程で御座いませぬ此點に於ては所謂支那水仙を以て最良としなければなりません、支那水仙と申しても支那一圓に出来るのでなく南部漳州地方に限られるので茲から北清を初め我國に迄輸入せらるゝ量は少々のもので御座いませぬさうであります。水盤の中に育てられた大きい球から長きに過ぎぬ葉を抽出した中から大きい花の總が澤山に出て芳香を放つ點はとも在來種の及ばぬ所であつてお正月の飾りとしての一方の雄であると思はれます。

杉 井 ぶ さ

すとそれを眼前に見る子供が何で無頓著でをられませう。初めの中は或は氣味悪がるかもしれないせんが漸く慣れて其の動物を知れば知る程それに對